

平成 2 2 年度事業報告

平成 2 2 年 4 月 1 日から
平成 2 3 年 3 月 3 1 日まで

1 事業の成果

日本 I D D M ネットワーク基本方針 2 0 1 0 ~ “参加” と “協働” ~ に基づき “救う” “つなぐ” “解決” の 3 つのステージで、インスリン補充が必要な患者とその家族のために取り組んだ。

“救う” ステージでは、患者会研修・交流会の開催、患者・家族会への助成金の交付、20歳以上の患者支援策実現に向けての政策提言、特別児童扶養手当の地域間格差の是正、学校・幼稚園等での説明用パンフレット及び1型糖尿病 [I D D M] お役立ちマニュアル Part 1 ~ 4 の配布、電話・メールでの相談、ホームページのリニューアル、会報の発行などに取り組んだ。

特に1型糖尿病の身体障害者福祉法における内部障害としての位置づけ、特別児童扶養手当の地域間格差の是正、配偶者控除制度の存続及び介護職員によるインスリン注射の法整備に関するロビー活動を強化し、特別児童扶養手当については、平成 2 2 年 1 2 月 1 日から当手当の認定要領と申請書に添付する診断書の様式が変更になり、これにより地域間格差が是正されるものと期待している。

また、平成 2 3 年 3 月 1 1 日に発生した東日本大震災では、3月12日から様々な情報提供を行い被災地からの個別の要請に対応したところである。

“つなぐ” ステージでは、医療者、企業、行政等と協働して、インスリンポンプとカーボカウントのセミナーの開催、日本初の1型糖尿病 [I D D M] レポート (I D D M 白書) 2 0 1 1 の発行 (今回の特集は「就職」) 、プロバスケットボールチーム富山グラウジーズ様による1型糖尿病の啓発活動、妊娠・出産に関するセミナーの開催などに取り組んだ。

特にインスリンポンプとカーボカウントのセミナーはほとんどの会場が満席状態で、出席者の過半数が医療関係者となり、今後の医療・療養環境の充実につながると確信している。

また、富山グラウジーズ様による啓発活動は試合開催地を中心として1型糖尿病の周知に大いに繋がったところである。

なお、日本 I D D M ネットワーク法人化 1 0 周年、1型糖尿病研究基金設立 5 周年記念シンポジウム「1型糖尿病 “治らない” から “治る” へ 2 0 2 0 年、あなたは どうしたいですか? 」は、文部科学省との協働により国内外から最先端の研究者の方々等を招いて開催することとしていたが、前日に発生した東日本大震災により延期することとした。

“解決” のステージでは、1型糖尿病研究基金による 3 0 0 万円の研究費助成、研究基金への協力要請などに取り組んだ。

新たな研究基金サポーター企業は以下のとおりである。

(1) 株式会社ドウゾ様

インターネットの保険代理店DOZOから自動車保険、医療保険に加入し、無事故又は健康で過ごせたら、加入者の意向で1契約あたり年間最大1200円をドウゾ様から1型糖尿病研究基金へ寄付。

(2) 株式会社富山グラウジーズ様

ホームゲームでの募金箱の設置、チャリティゲームの開催及び皆さんが頑張ることを宣言すると1宣言10円を寄付。

(3) エクセルエイド少額短期保険株式会社様

インターネットからの保険契約1件につき一定額が寄付される「ふぉーりっくぷろぐらむ」における支援先の一つに1型糖尿病研究基金を選定。

(4) 有限会社プレシャス・アイ様

病気や緊急連絡先等の情報を伝えるためのアクセサリーMedical ID(医療識別票)、商品名MEDIC INFOの売り上げの10%を1型糖尿病研究基金に寄付。

また、1型糖尿病「治らない」から「治る」「不可能を可能にする」を応援する100人委員会が平成23年1月に発足した。委員には鷓尾雅隆特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事、小川涉ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社代表取締役社長兼CEO、川北秀人I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]代表、クラウド アイラセンノボ ノルディスクファーマ株式会社代表取締役社長、黒田祐株式会社富山グラウジーズ代表取締役、後藤昌史東北大学未来科学技術共同研究センター教授、島田隆日本メドトロニック株式会社代表取締役社長、中内啓光東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター長、西川伸一理化学研究所発生・再生科学総合研究センター副センター長、古川康佐賀県知事、松本慎一米国ベイラー隣島細胞研究所ディレクター、村上龍小説家・映画監督、山中伸弥京都大学iPS細胞研究センター長などに就任いただいたところである。当委員会は平成23年3月12日からの本格的スタートを予定していたが、東日本大震災により延期したところである。

こうした取り組みのほか、様々な寄付により研究が加速し、一日も早く1型糖尿病が“治る”病気になることを期待しているところである。

管理運営面では、常勤の有給職員雇用を目指して取り組んだが、全て途中で断念することとなった。これは、理事長は愛知県、事務局長は佐賀県で別に職業を持ちながら、事務局員は東京等で一人で業務を行わざるをえない状況であり、コミュニケーションとマネジメントの不足が最大の原因である。一方で、業務に関わったボランティアは40名となり、今後の業務展開に明るい材料となった。

経営面では、寄付企業の減少もあり、一般会計の収入額が前年度比約500万円の減少となる一方、人件費等が膨らみ過去最高の単年度赤字(約500万円)を計上することとなった。今後は、収入源の多様化及び事業の優先課題への重点対応で早急な経営改善に臨むこととする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ネットワークの拡大・支援	<p>地域患者・家族会の活性化のために研修・交流会を開催した。 なお、3月13日は東日本大震災のため中止した。</p> <p>地域患者・家族会の活性化のために3団体に助成金を各2万円交付した。 ・つぼみの会愛知・岐阜 ・岡山1型糖尿病の会(WA!の会) ・静岡県つぼみの会</p> <p>患者・家族会設立助成金の交付制度を設けたが申請はなかった。</p>	<p>6月12日 -13日</p> <p>6月19日 -20日</p> <p>8月10日 8月31日</p> <p>通年</p>	<p>東京都</p> <p>岡山市</p> <p>佐賀市</p> <p>佐賀市</p>	<p>4人</p> <p>6人</p> <p>3人</p> <p>2人</p>	<p>患者及びその家族等 12人</p> <p>22人</p> <p>1200人</p> <p>-</p>	1887
情報収集提供・政策提言	<p>20以上の患者支援策の実現に向けて、1型糖尿病を身体障害者福祉法における内部障害として位置づけるよう、厚生労働大臣への要望書の提出並びに民主党、自民党、公明党国会議員等に対して働きかけを行った。また、佐賀県議会では「1型糖尿病患者の内部障害認定を求める意見書」が12月17日に全会一致で可決され、内閣総理大臣はじめ関係大臣に提出された。</p> <p>内閣府の障がい者制度改革推進会議に対しては、日本難病・疾病団体協議会(JPA)を通して難病も慢性疾患も含めて議論するよう意見を述べた。</p> <p>特別児童扶養手当の地域間格差是正に向けて、厚生労働省と協議を続けた結果、平成22年12月1日から認定要領や申請書に添付する診断書の様式変更に繋がった。</p>	<p>通年</p> <p>通年</p>	<p>東京都 安城市 佐賀市</p> <p>東京都 安城市 佐賀市</p>	<p>4人</p> <p>4人</p>	<p>患者及びその家族等 60000人</p> <p>20000人</p>	5237

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集提供・政策提言	配偶者控除制度の存続に向けて、民主党、公明党の国会議員に対し働きかけを行った。	通年	東京都 安城市 佐賀市	2人	患者及びその家族等 60000人	
	介護職員によるインスリン注射の法整備に向けて、民主党、公明党の国会議員に対し働きかけを行った。	1月～	安城市 佐賀市	2人	60000人	
	東京学芸大学と協働で作成した学校、幼稚園等での説明用パンフレット「教えて、りんりん！ RinRin 1型糖尿病ってどんな病気？」を患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市	2人	20000人	
	㈱サンリオ様の協力を得て、ロシュ・ダイアグノスティックス㈱様から提供いただいた血糖測定器等を入れる「キティちゃんポーチ」等を、患者・家族へ配布した。	通年	佐賀市	2人	60000人	
	日本初のIDDM白書「1型糖尿病 [IDDM] レポート2011」を発行した。今回の特集では、企業23社のアンケート及び就職している患者14名のインタビュー等をもとに「1型糖尿病患者にとっての就職」を取り上げた。	7 - 3月	東京都 大磯町 名古屋市 安城市 大阪市 岡山市 北九州市 佐賀市 大津町 大分市	6人	60000人	
	IDDM患者が就活する上でのポイント、ビジネスで活躍する先輩患者はどんな工夫をしているのか等をテーマに「IDDMとともに働くための就職活動フォーラム」を開催した。	11月28日	大阪市	4人	20人	
カーボカウントとインスリンポンプセミナーで使用するテキストを2000部作成した。	8月	安城市 佐賀市	2人	60000人		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集提供・政策提言	カーボカウントとインスリンポンプのセミナーを昨年度に引き続き開催した。参加者の過半数は医療関係者であった。	7月24日	名古屋市	4人	患者及びその家族等 94人 60人 60人 67人 34人 75人 73人 90人 76人 51人	
		9月25日	東京都	6人		
		10月30日	札幌市	4人		
		11月21日	東京都	7人		
		12月12日	徳島市	4人		
		12月18日	郡山市	5人		
		1月15日	横浜市	7人		
		1月23日	神戸市	7人		
		2月12日	名古屋市	6人		
		3月26日	広島市	7人		
	NPOマネジメントvol.70 (IIHO E [人と組織と地球のための国際研究所] 発行)の「NPOのこれまで10年から、これから10年を見つめる 難病患者支援 NPOは、どう進化したか?」で岩永幸三副理事長が当法人の活動内容等を情報発信した。	12月	東京都	1人	60000人	
	その他、京都大学iPS細胞研究所開所記念式典、米国研究製薬工業協会インフォメーションセッション、日本糖尿病学会、先進医療専門家会議、日本移植学会総会、製薬協フォーラム、日本膵・膵島移植研究会等で、情報収集や情報発信を行った。	通年	東京都 春日野町 岡山市 佐賀市	4人	60000人	
調査研究	1型糖尿病患者・家族等に必要情報を網羅した「1型糖尿病 [IDDM] お役立ちマニュアルPart 1~4を配布した。また、Part 5の発行準備に着手した。	通年	東京都 安城市 佐賀市	6人	患者及びその家族等 60000人 60000人 60000人	241
		9月~	佐賀市 和水町	2人		
		通年	安城市 岡山市 佐賀市	3人		
	患者の祖父母向けマニュアルの作成に着手した。					
	スタンフォード大学が開発した「セルフマネジメントプログラム」の普及に取り組む特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会への協力を行った。					

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
調査研究	<p>以下の調査・研究等に協力を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「糖尿病女性のリプロダクティブヘルス[性と妊娠・出産に関する健康]に関する支援ネットワークシステムの構築」(田中佳代久留米大学医学部看護学科母性看護学准教授) ・「難治性疾患患者の生活実態に関する調査」(研究代表者:林謙治国立保健医療科学院院長) ・「研究費配分過程への受益者の関与システムの構築-患者等の医療受益者と基礎・臨床研究者の協働を例として-」(川上雅弘京都大学iPS細胞研究所特定研究員) ・「日本の医療と先進医療技術に関する意識調査」(米国医療機器・IVD工業会) ・「患者団体の活動と医療政策に関する調査」(財団法人医療科学研究所) ・「難病患者等の日常生活状況と福祉ニーズに関するアンケート調査」(日本難病・疾病団体協議会) ・「患者会、相談の現場から見た難病支援研究、難病相談支援センターについてのアンケート調査」(日本難病・疾病団体協議会) ・平成22年度障害者総合福祉推進事業「その他障害者のピアサポート活動実態調査事業」(特定非営利活動法人おーさぁ) 	通年	佐賀市ほか	3人	患者及びその家族等 60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
シンポジウム・患者家族交流会	日本IDDMネットワーク法人化10周年、1型糖尿病研究基金設立5周年記念シンポジウム『1型糖尿病「治らない」から「治る」へ-2020年、あなたは どうしたいですか?-』は、海外も含めて最先端の研究者、企業、行政等の参加のもと3月12日に開催する予定であったが、前日に東日本大震災が発生し、延期することとした。	通年	東京都佐賀市ほか	17人	患者及びその家族等 60000人	1317
関係団体との連携	日本難病・疾病団体協議会(JPA)、日本製薬工業協会、ヘルスケア関連団体、特定非営利活動法人日本せきずい基金等と医療機関、研究機関、行政、企業等との連携、協働等について意見交換等を行った。	通年	東京都佐賀市ほか	4人	患者及びその家族等 60000人	263
普及啓発	NBC長崎放送のニュース「知ってほしい1型糖尿病」の取材に協力をを行った。 「ファンドレイジングジャーナル~日本の寄付文化の革新を目指して~」(日本ファンドレイジング協会発行)の第5号に「~糖尿病に2つあること知っていますか?~」が掲載された。 ウォーク&ランフェスタ(主催:ウォーク&ランフェスタ実行委員会)で1型糖尿病の概要を記したリーフレット等を配布した。 プロバスケットボールbjリーグ2010-2011シーズンにおいて、富山グラウジーズ様が試合会場等で1型糖尿病の社会認知活動を行われた。 世界糖尿病デー“おおさか”2010 府民公開講座&Unite for Diabetesに井上龍夫理事長が出席し、1型糖尿病が抱える課題と解決策について意見交換を行った。	7月19日 9月 9月11日 10月~ 11月14日	佐賀市 東京都佐賀市 調布市 富山市ほか 大阪市	2人 2人 3人 3人 1人	患者及びその家族等 60000人 60000人 60000人 60000人 50人	176

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
療育相談	電子メール(23件)、相談電話(59件)、ホームページ(96908件)等を通して、様々な相談等に対応した。	通年	東京都 大磯町 安城市 佐賀市 和水町ほか	6人	患者及びその家族等 60000人	584
	ホームページのリニューアルを行った。	通年	東京都 大磯町 佐賀市ほか	10人	60000人	
	1型糖尿病を持つ女性と看護職者のためのセミナー「共に語ろう糖尿病を持つ女性の性と妊娠・出産～糖尿病女性が、看護職者が、思うこと～」を久留米大学医学部等の研究班と共催で昨年度に引き続き開催した。	7月18日 12月5日	仙台市 名古屋市	6人 6人	45人 30人	
会報発行	会員の情報交換等のため、会報を3回、各4000部発行した。	5月31日 9月30日 12月28日	佐賀市ほか	4人	患者及びその家族等 60000人	1023
東日本大震災対策	発生の翌日(3月12日)からホームページでの情報提供及び被災地からの個別の要請(9件)に応じて、医療機関の紹介並びに血糖測定器、グルコースサプライ、グルコレスキューの送付等を行った。また、対策会議を2回開催した。	3月12日 ～	安城市 神戸市 西宮市 佐賀市 大津町ほか	5人	患者及びその家族等 60000人	150
1型糖尿病研究基金(特別会計)	1型糖尿病の治療につながるあらゆる先進的な研究を支援する「1型糖尿病研究基金」の第3回助成金公募を行い、12件の応募の中から下記の3件の助成を行った。 ・ブタ膵島によるポリビニルアルコール(PVA)マクロカプセル化膵島(MEIs)の研究 角昭一郎 京都大学再生医科学研究所准教授 助成金100万円	5月30日	安城市 大磯町 佐賀市ほか	9人	患者及びその家族等 60000人	3508

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計)	<p>・ヒト膵細胞を用いた血管構造を有する膵島創出法に関する臨床応用技術の開発 谷口英樹 横浜市立大学大学院医学研究科教授 助成金100万円</p> <p>・体内での膵細胞再生による1型糖尿病に対する治療法の開発 片桐秀樹 東北大学代謝疾患医学コアセンター教授 助成金100万円</p>	7 - 3月	全国各地	6人	患者及びその家族等 60000人	
	<p>参加費のうち1人あたり500円を研究基金に充てることを明示して全国各地でセミナーを開催した。 寄付金額: 319,000円</p>	7 - 3月	全国各地	6人	60000人	
	<p>全国各地で開催したセミナーで募金活動を行った。 募金総額: 150,895円</p>	通年	東京都 千葉県 佐賀市	5人	60000人	
	<p>コカ・コーラグループ各社様及び(株)伊藤園様のご協力により、難病・慢性疾患患者支援自動販売機を設置することとし、飲料売上額の一部が当研究基金への寄付となった。 設置目標台数: 100台 実績台数: 3台 寄付総額: 51,288円</p>	通年	東京都 佐賀市	3人	60000人	
	<p>インターネットの保険代理店DOZOから自動車保険、医療保険に加入し、無事故、健康で過ごせたら、保険加入者の意向により1契約あたり年間最大1200円を株式会社ドウソ様から寄付。</p>	10月～	東京都 富山市 佐賀市ほか	4人	60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計)	エクセルエイド少額短期保険株式会社様の「ふぉーりっくぶるぐらむ」(インターネットからの保険契約1件につき一定額の寄付)での支援先に選定された。	11月～	東京都佐賀市	2人	患者及びその家族等 60000人	
	有限会社プレシャス・アイ様から病気や緊急連絡先などの情報を伝えるためのアクセサリ-Medical ID(医療識別票)、商品名MEDIC INFOの売り上げの10%が寄付されることになった。	12月～	東京都佐賀市ほか	2人	60000人	
	1型糖尿病「治らない」から「治る」-“不可能を可能にする”-を応援する100人委員会が立ち上がった。 <100人委員会の役割> ・不可能を可能にするこの取り組みを“社会に発信”する。 ・不可能を可能にするこの取り組みの“戦略に助言”する。 ・不可能を可能にするこの取り組みに“参加”し患者と家族に勇気を与える。	1月31日～	東京都安城市佐賀市ほか	2人	60000人	
	助成を行った研究テーマの概要書を15000部作成し、趣意書とともに配布した。	10月～	安城市佐賀市	2人	60000人	

(2) その他の事業 該当なし

(3) その他

総会：通常総会を5月22日、東京都で開催した。

理事会：第18回理事会を3月13日、東京都で開催する予定であったが東日本大震災発生のため延期した。

役職員等勉強会・検討会：

5月22～23日東京都で、8月21日大分市で開催した。

ファンドレイジング戦略、広報対策会議：10回、東京都で開催した。

平成22年度貸借対照表総括表

平成23年3月31日現在
 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科 目	合計	一般会計	1型糖尿病研究 基金特別会計
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	8,653,408	6,739,988	1,913,420
未収会費	120,000	120,000	0
未収入金	0	0	0
流動資産合計	8,773,408	6,859,988	1,913,420
2 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資 産 合 計	8,773,408	6,859,988	1,913,420
負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	722,693	520,853	201,840
前 受 金	41,000	41,000	0
短期借入金	100,000	100,000	0
預 り 金	1,111	1,111	0
流動負債合計	864,804	662,964	201,840
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	864,804	662,964	201,840
正味財産の部			
前期繰越正味財産	15,057,753	10,865,709	4,192,044
当期正味財産増加額	-7,149,149	-4,668,685	-2,480,464
正味財産合計	7,908,604	6,197,024	1,711,580
負債及び正味財産合計	8,773,408	6,859,988	1,913,420

平成22年度財産目録

平成23年3月31日現在
 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高(一般会計)	29,060		
現金 現金手許有高(特別会計)	1,023,120		
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	3,078		
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(特別会計)	371,350		
普通預金 百五銀行員弁支店(一般会計)	0		
普通預金 三井住友銀行佐賀支店(一般会計)	0		
郵便貯金 福岡貯金事務センター(一般会計)	702,411		
郵便貯金 福岡貯金事務センター(特別会計)	518,950		
郵便貯金 郵便貯金総合通帳・ばるる(一般会計)	4,439		
定期預金(1年) みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	3,000,000		
定期貯金(1年) ゆうちょ銀行(一般会計)	3,001,000		
未収会費(一般会計)	120,000		
未収入金(一般会計)	0		
流動資産合計		8,773,408	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資 産 合 計			8,773,408
負債の部			
1 流動負債			
未 払 金(一般会計)	520,853		
未 払 金(特別会計)	201,840		
前 受 金(一般会計)	41,000		
預 り 金(一般会計)	1,111		
短期借入金(一般会計)	100,000		
流動負債合計		864,804	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負 債 合 計			864,804
正 味 財 産			7,908,604

注) 定期預金及び定期貯金の合計額6,001,000円が東京事務所開設準備積立金である。

平成22年度一般会計収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差 異(B)-(A)	備 考
収入の部				
1 会費収入	1,680,000	1,542,000	-138,000	
・正会員会費収入	546,000	516,000	-30,000	
・賛助会員会費収入	384,000	204,000	-180,000	
・その他の会員会費収入	750,000	822,000	72,000	個人会員
2 寄付金収入	9,300,000	9,903,620	603,620	
・一般寄付金収入	9,300,000	9,903,620	603,620	
3 助成金等収入	2,100,000	1,766,386	-333,614	
・助成金収入	500,000	0	-500,000	
・負担金収入	1,600,000	1,766,386	166,386	イベント参加費
4 繰入金収入	1,000,000	999,000	-1,000	
・東京事務所開設準備積立金取崩収入	1,000,000	999,000	-1,000	新橋に連絡事務所、口座開設で1000円定額貯金
5 雑収入	21,791	140,866	119,075	
・受取利息	1,791	5,183	3,392	
・雑収入	20,000	135,683	115,683	研究協力、原稿料
当期収入合計(A)	14,101,791	14,351,872	250,081	
前期繰越収支差額	3,898,209	3,898,209	0	
収入合計(B)	18,000,000	18,250,081	250,081	
支出の部				
1 事業費	11,300,000	10,878,231	-421,769	
・ネットワークの拡大・支援	2,350,000	1,886,900	-463,100	患者会研修・交流会(2回)
・情報収集提供・政策提言	4,300,000	5,237,157	937,157	カーボカウントセミナー(10回)、IDDM白書
・調査研究	1,200,000	240,543	-959,457	マニュアル本パート5発行準備先送り
・シンポジウム・患者家族交流会	800,000	1,317,073	517,073	法人化10周年・東日本大震災のため延期
・関係団体との連携	250,000	263,450	13,450	
・普及啓発	400,000	176,465	-223,535	富山グラウジーズチャリティゲーム出席
・療育相談	1,000,000	583,667	-416,333	HPリニューアル
・会報発行	1,000,000	1,023,476	23,476	3回発行
・東日本大震災対策	0	149,500	149,500	対策会議(2回)
2 管理運営費	6,600,000	7,263,326	663,326	
・人件費	3,600,000	3,591,350	-8,650	3名
・管理費	3,000,000	3,671,976	671,976	電話料、ファンドレイジング等戦略会議、業務委託
3 繰入金支出	0	0	0	
・1型糖尿病研究基金特別会計繰入金支出	0	0	0	
4 予備費	100,000	0	-100,000	
・予備費	100,000	0	-100,000	
当期支出合計(C)	18,000,000	18,141,557	141,557	
当期収支差額(A)-(C)	-3,898,209	-3,789,685	108,524	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	108,524	108,524	

平成22年度1型糖尿病研究基金特別会計収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差 異(B)-(A)	備 考
収入の部				
1 寄付金収入	1,000,000	1,026,953	26,953	
・1型糖尿病研究基金寄付金収入	1,000,000	1,026,953	26,953	セミナー時
2 繰入金収入	0	0	0	
・一般会計繰入金収入	0	0	0	
3 雑収入	956	654	-302	
・受取利息	956	654	-302	
当期収入合計(A)	1,000,956	1,027,607	26,651	
前期繰越収支差額	4,192,044	4,192,044	0	
収入合計(B)	5,193,000	5,219,651	26,651	
支出の部				
1 事業費	3,000,000	3,000,000	0	
・1型糖尿病研究助成金	3,000,000	3,000,000	0	3件助成
2 管理運営費	420,000	508,071	88,071	
・人件費	0	10,600	10,600	
・管理費	420,000	497,471	77,471	助成研究概要書等の印刷
3 予備費	23,000	0	-23,000	
・予備費	23,000	0	-23,000	
当期支出合計(C)	3,443,000	3,508,071	65,071	
当期収支差額(A)-(C)	-2,442,044	-2,480,464	-38,420	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,750,000	1,711,580	-38,420	23年度助成金へ

平成22年度収支計算書総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科 目	合計	一般会計	1型糖尿病研究 基金特別会計	備 考
収入の部				
1 会費収入	1,542,000	1,542,000	0	
・正会員会費収入	516,000	516,000	0	
・賛助会員会費収入	204,000	204,000	0	
・その他の会員会費収入	822,000	822,000	0	
2 寄付金収入	10,930,573	9,903,620	1,026,953	
・一般寄付金収入	9,903,620	9,903,620	0	
・1型糖尿病研究基金寄付金収入	1,026,953	0	1,026,953	
3 助成金等収入	1,766,386	1,766,386	0	
・助成金収入	0	0	0	
・負担金収入	1,766,386	1,766,386	0	
4 繰入金収入	0	0	0	
・一般会計繰入金収入	0	0	0	
5 繰出金収入	999,000	999,000	0	
・東京事務所開設準備積立金取崩収入	999,000	999,000	0	
6 雑収入	141,520	140,866	654	
・受取利息	5,837	5,183	654	
・雑収入	135,683	135,683	0	
当期収入合計(A)	15,379,479	14,351,872	1,027,607	
前期繰越収支差額	8,090,253	3,898,209	4,192,044	
収入合計(B)	23,469,732	18,250,081	5,219,651	
支出の部				
1 事業費	13,878,231	10,878,231	3,000,000	
・ネットワークの拡大・支援	1,886,900	1,886,900	0	
・情報収集提供・政策提言	5,237,157	5,237,157	0	
・調査研究	240,543	240,543	0	
・シンポジウム・患者家族交流会	1,317,073	1,317,073	0	
・関係団体との連携	263,450	263,450	0	
・普及啓発	176,465	176,465	0	
・療育相談	583,667	583,667	0	
・会報発行	1,023,476	1,023,476	0	
・東日本大震災対策	149,500	149,500	0	
・1型糖尿病研究助成金	3,000,000	0	3,000,000	
2 管理運営費	7,771,397	7,263,326	508,071	
・人件費	3,601,950	3,591,350	10,600	
・管理費	4,169,447	3,671,976	497,471	
3 繰入金支出	0	0	0	
・1型糖尿病研究基金特別会計繰入金支出	0	0	0	
・東京事務所開設準備積立金支出	0	0	0	
4 予備費	0	0	0	
・予備費	0	0	0	
当期支出合計(C)	21,649,628	18,141,557	3,508,071	
当期収支差額(A) - (C)	-6,270,149	-3,789,685	-2,480,464	
次期繰越収支差額(B) - (C)	1,820,104	108,524	1,711,580	

役員名簿

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人日本 I D D M ネットワーク

役名	氏 名	住所又は居所	就 任 期 間	報酬を受 けた期間
理事	井上 龍夫	愛知県安城市	22年4月1日 ~ 23年3月31日	該当なし
理事	岩永 幸三	佐賀県佐賀市	22年4月1日 ~ 23年3月31日	該当なし
理事	山上 雅晴	千葉県千葉市	22年4月1日 ~ 23年3月31日	該当なし
理事	山本 康史	三重県伊勢市	22年4月1日 ~ 23年3月31日	該当なし
理事	後藤 昌史	宮城県仙台市	22年4月1日 ~ 23年3月31日	該当なし
監事	古賀 敏久	福岡県久留米市	22年4月1日 ~ 23年3月31日	該当なし
理事	香川 由美	東京都文京区	22年4月1日 ~ 22年5月31日	該当なし
理事	三部 庫造	富山県砺波市	22年4月1日 ~ 22年5月31日	該当なし
理事	陶山えつ子	熊本県玉名郡和水町	22年4月1日 ~ 22年5月31日	該当なし
理事	京野 文代	岡山県岡山市	22年6月1日 ~ 23年3月31日	該当なし
理事	尾白登紀子	神奈川県中郡大磯町	22年6月1日 ~ 23年3月31日	該当なし
理事	大村 詠一	熊本県菊池郡大津町	22年6月1日 ~ 23年3月31日	該当なし

平成22年度の社員のうち10人以上の者の名簿

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

名 称	住 所 又 は 居 所
け や き の 会	宮城県名取市
特定非営利活動法人秋田県1型糖尿病の会	秋田県秋田市
特定非営利活動法人補食の会	富山県砺波市
大 阪 く る み の 会	大阪府茨木市
大 阪 杉 の 子 会	大阪府大阪市
岡 山 つ ぼ み の 会	岡山県岡山市
広 島 も み じ の 会	広島県広島市
特定非営利活動法人DMユース佐賀	佐賀県佐賀市駅前中央一丁目8番32号iスクエアビル3階市民活動プラザ内
特定非営利活動法人ことのうみの会	長崎県長崎市
D M 風 の 会	熊本県玉名郡和水町